



半田市では「みんなでいっしょに大作戦」を合言葉に、市民のみなさんと力を合わせて、より住みやすいまちにしていくことを目指しています。 このコーナーでは、さまざまな取り組みをされている市民のみなさんの顔とともに、 その取り組みの様子をお届けします。

今年で30回目の古着回収! 開発途上国へ衣服を送る活動に取り組んでいます

6月23日(日)、国際ボランティア ポレポレの会員を始め、市や半田消防署職員などのボランティアによる"古着回収"が半田市職員駐車場で行われました。

これは、家庭で眠っている衣料品を回収し、衣料不足に悩む開発途上国の人々に古着を届けることを目的に、同団体が1990年(平成2年)から継続して取り組んでいるものです。

30回の節目の年となる今回は、約250人が寄附に訪れ、段ボール350個分の衣類が集まりました。寄付された衣類は、神戸にあるNPO法人日本救援衣料センターを通じて開発途上国の人々のもとに届けられます。



団体では、多くの方に「不要になった衣料品が誰かの役に立つ」ということを伝えていくため、今後も"古



着回収"活動を継続していくそうです。また、その他にも、外国人相談や日本語教室、おしゃべりサロンを開催し、半田に住む外国人が生活しやすくなるよう支援しています。ポレポレの活動に興味・関心のある方々とともに活動の輪を広げていきたいとのことです。

問合わせ 国際ボランティア ポレポレ 事務局 鈴木そう子 ☎29-3188 Eメール info@polepole-iv.net



▲国際ボランティア ポレポレ

コミュニティ・スクールの紹介

雁宿小学校

市内の小中学校では、「コミュニティ・スクール制度」(保護者や地域住民のみなさんと子どもたちを育てていく仕組み)を取り入れています。

時季外れの猛暑となった5月の土曜日、PTAや地域の方が、「ふれあい運動会」実施のためテントを設営してくれました。一生懸命がんばる子どもたちや、暑さ対策や競技運営に駆け回る職員とともに、最後の片付けまで一緒になって支えてくれました。

10月の「かりやど祭り」では、企画・準備から運営まで、まさに地域の祭りとして学校と一体となって行ってくれています。他にも、防災教室や昔の遊び体験、ふくし実践教室、図画工作科や家庭科の授業の応援、樹木の剪定や学年園の整備などを通じて、子どもたちの健やかな成長を後押ししてくれています。

